

第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2017年5月13日(土)～14日(日)

@サンポートホール高松、高松シンボルタワー、JRホテルクレメント高松

| プレコングレスワークショップ 19  |                                  |
|--|----------------------------------|
| 企画名  | 免許皆伝！BPPV 指南書 虎の巻                |
| 日時   | 2017年5月12日(金) 16:40～18:10        |
| 会場   | 第8会場 (高松シンボルタワー タワー棟 4F BB スクエア) |
| 企画責任者  | 池田 圭一郎 (昭和大学病院総合診療部)             |
| 定員   | 20名                              |
| 開催の目的・概要   |                                  |
| <p><b>【開催の目的】</b></p> <p>良性発作性頭位めまい症(Benign Paroxysmal Positional Vertigo: BPPV)は頭位や姿勢の変換により誘発されるめまい症で、急性めまい症の原因として最も多く、救急外来のみならず、プライマリ・ケアの場でもよく遭遇する疾患である。BPPV の診断については、病歴の聴取により多くの症例で可能であるが、それ以上に問題となるのは、その対応方法ではなかろうか。</p> <p>第一選択で推奨されている耳石置換法は、患側を正しく判定し、適した手技を実施することが重要であるが、「実際にどのように行えばいいのか分からない」、「方法・知識は既に学習しているが、実施することがあまりなく自信がない」、「今までに指導を受けたことがなく、手技が正しく行えているのか不安に感じている」などの意見も多く聞かれる。今回このワークショップ(WS)では、そのような方を対象に、一人でも多くの方が方法を習得できるよう企画した。</p> <p><b>【概要】</b></p> <p>BPPV は三半規管の障害によって起きる疾患である。その障害部位を診断する誘発試験や治療方法は、障害されている半規管により異なる。この WS では BPPV を診るための基本的な知識や実際の現場での対応などをシンプルにわかりやすく説明した後、誘発試験による部位診断と治療の流れをスタッフが体を使いながら解説し、受講者に手技を実践していただく。具体的には、BPPV 最も頻度が高い後半規管型 BPPV の誘発試験である Dix-Hallpike 試験とその治療手技である Epley 法、水平半規管型 BPPV の誘発試験である Spine-roll 試験と治療手技である Gufoni 法を体験する。これらの手技は実際に体を動かし、スタッフがきめ細やかにフィードバックを行いながら、習得するまで繰り返し行うため、WS 終了後は BPPV の患者と自信をもって向き合うことができるようになるだろう。</p> |                                  |